

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

< 2013年8月号 >

77号 2013.8.1 配信

暑中お見舞い申し上げます。

店頭には並ぶ涼感グッズを手に、「試してみようかしら……」と足を止めたくなるこの頃です。暦の上ではまもなく秋を迎えようとしていますが、まだまだ暑い日が続きます。熱中症に気をつけながら、夏を乗り切ってまいりましょう。

すでにご存じの方も多いと思いますが、昭和女子大学が、3年連続で就職率女子大トップとなりました。これは、1000人以上の学生（就職該当者）がいる全国の大学の中での成績で、大学全体では、10位（2013年7月17日付 サンデー毎日）の成績だそうです。嬉しいニュースに、頑張る後輩たちを今まで以上に応援したいものです。

## ■ 学園だより

- 学園の夏季休業等は以下の通りです。

大学キャンパス 8月1日（木）～9月30日（月）

8月10日（土）～18日（日）は学園一斉休業

同窓会事務局 8月3日（土）～18日（日）

大学図書館 8月9日（金）～18日（日）

- 8月24日（土）・25日（日）オープンキャンパスが開催されます。
- 8月31日（土）甲府市（KKR甲府ニュー芙蓉）と新潟市（ホテルオークラ新潟）で地区懇談会が開催されます。

## ■ 同窓会便り

- 夏季ワーキング開催案内

### ◆ 小学校教職員ネットワーク

開催日時：2013年8月24日（土） 13時30分～16時

開催場所：昭和女子大学 学園本部館3階 大会議室

開催内容：テーマ「これからの教育を考える」

第一部 講演 杉本 真智子さん（1980年 初等教育科卒）

川崎市教育委員会

第二部 ディスカッション

☆押谷由夫先生、清水満久先生もお見えになります。

参加費：500円（資料代を含む）

お申込み締切日：2013年8月20日

お申込み・お問い合わせ：光葉ワーキングクラブ事務局

e-mail:working@swu.ac.jp FAX 03-3411-4066

◆『食』関連ネットワーク

開催日時：2013年9月7日（土） 13：30～16：30

開催場所：昭和女子大学 学園本部館3階 大会議室

開催内容：第一部 講演「食と私の仕事との関わり」

—美容栄養アドバイザーという仕事—

石坂 優子さん（2009年 食物科学科卒）

第二部 情報交換会

第三部 懇親会

参加費：1200円（一般）・500円（学生）

お申込み締切日：2013年8月24日（土）

お申し込み・お問い合わせ：光葉ワーキングクラブ事務局

（小学校教職員ネットワークに同じ）

◆ビジネスネットワーク

開催日時：2013年9月21日（土）14：00～17：00

開催場所：昭和女子大学 大学1号館2階 元学長室

開催内容：私のミニ講座 「新聞の読み方や『読ませる文章の書き方』」

木村 葉子さん（1990年 日本文学科卒）

◆中高教職員ネットワーク

開催日時：2013年10月5日（土） 14：00～16：00

開催場所：昭和女子大学 研究館（光葉博物館のある建物）予定

開催内容：講演「昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校の教育」

大泉 章子さん（1972年 日本文学科卒）

昭和女子大学附属中学校・高等学校校長

※ ビジネス・中高教職員ネットワークワーキングについての詳細は、9月号のメールマガジンに掲載します。

## ■ 広げよう光の葉

小口 恵子さん

1982年 短期大学部初等教育学科卒業

### 「学生時代を振り返って～そして今～」

私は、昭和57年3月に初等教育学科を卒業しました。在学中は、2年間で幼稚園と小学校の免許をとるため、朝から夕方まで授業があり、忙しい毎日でした。夏休みには1年次には見学実習、2年次には教育実習がありました。クラスは50人ほどでいつも一緒に授業を受けていたので、大学なのに中学や高校のように仲の良いクラスでした。

実習の後には、それぞれが自分の出会った子どもの話をし、みんなで教師になる夢を語り合いました。私も、小学校実習で、1年生のクラスで実習をしました。その時の指導教官が昭和の先輩の酒井真理子先生でした。教師としての心構えから、授業の進め方など丁寧に指導いただきました。実習日誌の最後に「毎日の生活の全てが教師になるための糧です」と書かれていました。教育技術だけではなく、豊かに生活し人間性を高めることが教師として大切であるというお話はその後の私の人生に大きく影響しています。その時の実習日誌は今でも私の宝物です。昭和の先輩が学校現場で活躍している姿は励みになりました。

教師になりたいという気持ちを実習で強くし、2年次の7月に小学校の教員採用試験を受けました。大学では論文を指導してもらったり、面接や実技の練習を丁寧に指導してもらったりしましたが、残念ながら不合格でした。しかし、縁あって私立幼稚園の採用の話があり、幼稚園に就職することになりました。それから8年間幼稚園教諭として勤務し、幼児の育ちだけでなく、保護者との接し方も学ぶことができました。

幼稚園を退職した年の4月から世田谷区の小学校の特別支援学級で介助員として働くことになりました。そこではじめて特別な支援を必要とする子どもたちに出会い、自分がこの子たちのために何ができるのだろうか考えるようになりました。そして、その年の7月に東京都の教員採用試験を受けました。人生でいちばん勉強したかもしれないと思うほど勉強し、合格を手にしました。その時の喜びは今でも忘れません。

それから特別支援学級の担任、通常学級の担任を経て、今は通級制の特別支援学級の担任として発達障害の子どもたちを支援しています。いろいろな育ちの子どもたちに接してきたことが、教師としての私の力になっていると感じています。幼稚園に勤めて初めて子どもから「先生」と呼ばれてから、今年で32年目になります。昭和の後輩が教員として赴任してきたり、学生が実習にきたりする機会が増えてきました。また、職場では若い教員を育てることも私の使命の一つだと思い、技術だけでなく子どもの発信を受けとめる、子どもを理解することを伝えていきたいと思っています。

私は、中高、短大と8年間を昭和で過ごしました。建学の精神である「世の光となろう」という人見先生の言葉がいつも心にあります。これからも周りの人が幸せになれるような仕事を一歩ずつ積み重ねていきたいと思っています。

後輩のみなさんには、失敗をおそれずにいろいろなことにチャレンジしてほしいと切に願っています。

End